



平成 26 年 10 月 1 日

各位

会 社 名 アンジェス MG株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 米尾 哲治
電話番号 03-5730-2641

ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)による当社第 26 回新株予約権の権利行使結果(確定)に関するお知らせ

平成 26 年 7 月 22 日公表の「ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)に関するお知らせ」(以下、「当初プレスリリース」といいます。)において開示しました当社第 26 回新株予約権(以下「本新株予約権」といいます。)の権利行使期間が平成 26 年 9 月 30 日(火)をもって終了し、権利行使結果が確定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株主及び一般投資家の皆様のご理解のもと、本新株予約権の発行総数に対する権利行使割合は 65.24%となりました。厚く御礼を申し上げます。

記

1. 本新株予約権の内容

本新株予約権の名称	アンジェス MG株式会社第 26 回新株予約権
本新株予約権の権利行使期間	平成 26 年 9 月 5 日(金)から 平成 26 年 9 月 30 日(火)まで
本新株予約権の発行総数	32,403,900 個

2. 本新株予約権の権利行使結果(確定)

権利行使された本新株予約権の個数	21,140,461 個
本新株予約権の発行総数に対する権利行使割合	65.24%
交付株式数	21,140,461 株
払込総額	6,088,452,768 円

(注)払込総額は、本新株予約権の行使により発行された株式の発行価額の総額を記載しております。

3. 平成26年9月30日（火）現在の発行済株式総数及び資本金の額

発行済株式総数	53,544,361株
資本金の額	14,847,066,199円

4. 調達資金の使途について

今回の調達資金の使途につきましては、当初プレスリリースにてお知らせいたしましたとおり、当社開発プロジェクトである HGF 遺伝子治療薬（「コラテジェン®」）の重症虚血肢を対象疾患とした国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施するために必要と見込まれる費用及び国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施する期間の当社の運転資金の一部（研究開発関連費用及び本社機能運営費用等）として充当する予定です。

当初プレスリリースにおいては、本新株予約権の行使比率（本新株予約権の発行総数に対する権利行使割合）が100%であると仮定し、払込金額の総額（本新株予約権の行使に際して払い込むべき金額の総額）が約9,332百万円、発行諸費用の概算額が約198百万円、差引手取概算額が約9,134百万円となった場合の差引手取金概算額の充当額及び充当期を下記表のとおりとしておりました。

（単位：百万円）

	平成26年 9月以降	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 5月まで	合 計
1. 「コラテジェン®」の国際共同第Ⅲ相臨床試験に関する費用							
1-①臨床試験費用	874	2,720	1,849	1,609	405	91	7,548
1-②海外子会社運営費用	135	330	337	344	351	60	1,557
小 計	1,009	3,050	2,186	1,953	756	151	9,105
2. その他運転資金							
2-①研究開発関連費用	—	194	312	249	187	—	942
2-②本社機能運営費用	—	428	550	492	373	—	1,843
小 計	—	622	862	741	560	—	2,785
3. 合計(1+2)	1,009	3,672	3,048	2,694	1,316	151	11,890
4. 過去に調達済みの資金	△1,009	△726	—	—	—	—	△1,735
5. 今後の必要資金合計	—	2,946	3,048	2,694	1,316	151	10,155
6. 今回の調達資金充当額	—	2,946	3,048	2,694	446	—	9,134

上記「2. 本新株予約権の権利行使結果（確定）」に記載のとおり、最終的な行使比率は65.24%となり、その結果、払込金額の総額は約6,088百万円、今回の権利行使およびそれに伴う新株式交付にかかる費用等の発行諸費用の概算額（約150百万円）を控除した差引手取概算額は約5,938百万円と

なりました。当初プレスリリースにてお知らせいたしましたとおり、「コラテジェン®」の国際共同第Ⅲ相臨床試験をできる限り前進させる観点から、「コラテジェン®」の国際共同第Ⅲ相臨床試験に関する費用を支払うとともに、当該費用の支払いが行われる時期の当社の運営費用も賄う必要があるため、本新株予約権無償割当てにより調達される資金について、上記表中の各期間に生じる各費用につき、支弁時期の早いものから順に充当していく予定です。調達した資金によって賄うことができない各費用については、国際共同第Ⅲ相臨床試験の進捗への支障を最小限に留めるべく、自社製品における新規提携先確保による契約一時金の調達、既存提携先との契約内容見直しによる中間金（マイルストーン）の前倒しでの確保及び株式市場やマーケット状況を勘案しその他エクイティ・ファイナンスによる資金調達等の施策を講ずることにより随時その調達を検討してまいります。

5. 業績に与える影響

現時点において、平成26年2月7日に公表いたしました平成26年12月期連結業績予想に変更はございません。

以 上